企業･団体名（ 有限会社矢崎製作所 ）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	企業の社会的責任であり差別のない組織体制を維持しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	毎月の会議で品質向上/ステークホルダーの要求事項の確認/法令の説明をし浸透を図っています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	作業手順書を作成し生産性向上と時間外作業が発生しないように努めています。時間外労働は殆どありません。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	差別しない体制を構築しています。定期的に従業員にヒアリングを実施して人権侵害がないか確認をしています。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	工場内は白線を引き、機械と人道を明確に区分けして、安全の確保を図っている。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	今後ストレスチェックをできる仕組みを構築したいと思います。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	定材適所の配置を実施しています。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	国家試験であるプラスチック技能検定に関して社内教育を通して取得支援を強化している。その他品質強化を目指す教育を実施しています。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	法令に基づき同一労働/同一賃金に取り組んでいます。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	定期健康診断を実施している。又有給取得については100%取得をし、心身共に健康維持に取り組みをしています。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	産業廃棄物処分委託契約書を締結、毎年県知事への報告をし廃棄物を適切に処理をしています。											11.6	12		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	(予定)エコステージ協会から提供されているマテココのソフトを活用し、スコープ1及び2のCO2排出を把握する予定をしています。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	上記の内容を把握して課題を明確にして取り組む予定。現在は最新のNCの機械を順次代替して、省エネ田(電気使用量削減が可能)機械を導入しています。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	エコステージの法令を一覧化して毎年改定がないか確認をしている。当社では健康に大きな影響を及ぼす化学物質は使用していません。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	最新機械導入による電気使用量削減/産業廃棄物の委託業者への適切処理依頼をし、環境負荷軽減に努め生態系への影響を最小限に努めています。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	プラスチックの原料はリユースしている。リユースできない原料は廃棄物処理し、その後リサイクルに回り環境負荷軽減に努めています。												13		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の毎月の使用量を把握している。生産工程での水の使用量は殆どありません。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001と同等のエコステージの認証取得をしています。環境負荷軽減、経営革新に努めています。 2007.3月認証取得済			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境経営方針で、経営理念/基本方針をホームページに開示しています。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	プラスチックの原料はリユースして環境負荷軽減に努めています。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	グリーン購入を推進して複合機では再生紙を使用しています。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	エコステージ活動の中で法令の特定/改定を毎年確認して法令違反防止に努めており、社員への浸透を図っています。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	エコステージ活動の中で法令の特定/改定を毎年確認して法令違反防止に努めており、社員への浸透を図っています。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産としての特許はありません。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報/重要情報についてはパソコンでパスワードを設けて管理し、特定以外の人が閲覧できないように情報流出防止に努めている。																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	エコステージで法令一覧化をしており、法令特定時にステークホルダーと共に紛争鉱物は使用していない事を確認している。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	お取引様とのグリーン調達基準を基に環境負荷軽減/特に化学物質の使用による人体への影響のない部品を製造しています。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	お取引様とのグリーン調達の内容を確認して法令違反のない製造に努めている。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	工程内管理/検査体制を強化してお客様への不良品流出防止に努めています。									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	ステークホルダーとはグリーン調達基準を基に安心、安全な部品を製造しています。						6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	ステークホルダーとはグリーン調達基準を基に安心、安全な部品を製造しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業活動が有害/有益の環境側面を把握しています。地域住民から苦情がでないように環境整備を実施しています。（エコステージ活動の要求項目）				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	寄付、ボランティア活動はしておりませんが、部品製造をし、製品になる事が社会貢献の一貢として捉えています。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	得意先はすべて県内の事業者と取引をしています。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	環境経営方針に対する基本理念と基本方針を掲げ、従業員と共有を図っています。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	エコステージ活動の中で法令の特定/改定を毎年確認して法令違反防止、従業員への浸透を図っています。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	エコステージ活動において環境管理責任者を配置し組織体制を明確にしている。又、文書化している。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーからの要求事項（グリーン調達事項）を一覧化して従業員と共有しています。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	事業活動における取り組み項目でリスクを可視化して課題を抽出している。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	エコステージ活動は環境だけに留まらず、経営革新する位置づけとして事業全体に責任をもった活動を継続しています。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害時における安否確認実施と、飲料水等の備蓄をして緊急事態に備えている。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	現時点における事業継承に関しては必要がないと判断しています。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）